

## 試みによる罪の自覚

創世記四四章一〜17節

ご主人様に何を申せましょう。何を語れましょう。身の潔白を何をもって明かせましょう。神が僕どもの罪を暴かれたのです。私たちはご主人様の僕となります。(16)

ヨセフは兄たちに対して最後のテストを課します。ヨセフの銀杯をベニヤミンの食料袋にわざと忍び込ませ、盗人の嫌疑をかけるというものでした。ヨセフの使いの者に呼び止められ、銀杯がベニヤミンの袋の中から発見されたとき、兄たちはベニヤミンを見捨てることなく、全員でヨセフのもとに引き返します。彼らは待ち構えていたヨセフの前にひれ伏し、兄弟を代表してユダが今日の聖句のように告白しました。このようなことが起こったのは、主なる神が自分たちの隠れた罪を明らかにするためであったと自覚したのです。試みによって罪という不純物が表面に浮かび上がり、この罪を抱えていてはもはやどうすることも出来ないことを悟ったのです。罪の自覚を促す機会に直面したとき、逃げることなく自らの罪を素直に認め、正しく嘆くことができる人はなんと幸いなことでしよう。